

# 市政モニター施設見学・市長との座談会



去る2月10日、市政モニター10人の参加により、市内の施設「特別養護老人ホーム土佐清風園、一般廃棄物最終処分場八京地区建設現場」を見学の後、「市町村合併問題について」を主なテーマとして、本年度で三回目となる市長との座談会（勉強会）が行われました。

市長は、冒頭に「ごみ問題」などについて、市政モニターからの積極的な提言を受けて、特にごみ袋の規格の変更をおこなったこと、市の財政状態について借金払いが多くなって貯金が間もなく底をつくような財政難を迎える中、これを打開しながら総合計画の実

現に向けて市役所全体で取り組んでいくことを説明した上で、「市町村合併問題は大変難しい問題をやらんでおり、十分な議論の積み重ねが必要である」と挨拶しました。

引き続き、企画課長が、昨年11月、各戸に配布したパンフレット「南国市・香美郡の市町村合併を考える」をもとに「今、なぜ合併を考えないといけないんですか？」「合併したらどんな効果があるの？」「合併したら財政は楽になるの？」等々を説明した後、意見交換を行いました。

内容は、要約したあらましです。

**会長** 国から合併支援策でお金がもらえるけれど市の借金が減るわけではないとの説明ですが、それを補填して、市の借金を無くすことには使えませんか。

うはいかんですね。

う内容です。

**企画課長** 市町村の建設計画に基づく建設事業だけにしか使えません。例えば、道路をついたり、橋を架けたり、あるいは庁舎の建て替え、こういったものしか使えません。

**会長** それじゃメリットにならないですね。市の借金が減ると考えていただけれどそ

**市長** まだ検証しておりませんが、例えば、南国市単独では後免町の再開発事業のための借金ができる体質には無いが、合併する関係市町村にぜひ承認してくれと、仮にそれで承認されたら借金ができる可能性が出てくる。各自自治体が財政的に一回もやらない事業、道路や都市計画、あるいはいろんな施設もそうかも知れませんが、合併特例ということで570億円程度を限度にやれる可能性はある。支援策というのはそういう

それから、合併是非論にはまだよう踏み込みませんが、市長としてはある時期が来れば市の方向性は示す必要があると思っています。しかし、十分な議論の積み重ねが我々にもない、住民の側にもない、議会の中にもないまま、どうぞ皆さん決めてください、皆さんの言うとおりします、というのは基礎自治体の長としては、僕は無責任極まると思っっています。可能な限り南国市政に与える影響を検証して、押しつけじゃなくて一定の方向をたたき台とした、い



一般廃棄物最終処分場  
(八京地区)の視察



土佐清風園の視察

ろんなレベルでの議論を高めることが重要です。そのために、更に精密な検証を加えていずれ早い時期に方向性を示して、市民の皆さんに議論していただける環境づくりを急ぐことを3月の議会では表明したいと考えています。

**副会長** どうでしょう、市民全体の盛り上がりというのは、まだまだじゃないかなあと思うんですが、各方面へ企画課長さんが出かけて感じるところは。また、17年3月頃までに、ある一定の方向が必要になるということですが、これからの市民側に向けての計画はどのように考えていますか。

**市長** いや、別に無いです。課題として、合併支援策の方で実現可能になるのか、というような検討はしなければならぬと思っております。それよりも前に、総合計画に基

づき南国市として進めているまちづくりに財政的な面も含めてどういった影響があるのか、マイナスイ面もプラス面も含めて我々の立場でもっと深い検討をしないと、一見理想的な資料の説明のまま住民投票にこの問題をすべて市民に投げかけて、その結果に従うというのは良くないと思います。

また、支援策に目を奪われて合併論をしてもいけない、支援策があるから合併というのにも陥りやすい落とし穴だと僕は思っています。町全体にどう影響があるか等々をもっと検討した上で考え方をまとめる、そのために議会に合併問題の調査特別委員会を作って頂けることになりました。今後は、議会を挙げて検討していただきます。

**企画課長** 年明け早々から各地区の公民館17館で説明会を実施しましたが、全体的に出席者が非常に少なく、多い会場で30人位、少ないところで5人程度の出席でした。合併問題を、まだ身近に感じていないかも知れませんね。

**市長** 合併賛成反対を含めて議論が少ないですね。新聞の社説では、県政の重要課題は、人口減だと、少なくともそのように論じています。高齢化や人口減が県政の最大課題であるなら、その課題と、この市町村合併が課題克服につながるか、つながらないのか、といったようなことを県として、ぜひ検討して欲しいと機会あるごとに南国市長として言っております。県は、今の段階では、いやそれは各市町村の皆さんが決めることです。資料は徹底して出しませし、徹底した支援を行います、ということですよ。

**モニター** 国から出されたマクロ的な問題を基軸に考えていくと、南国市の立場、南国市のメリット・デメリットはこうだと言ってみてもり市町村が合併したら、そのメリット・デメリットは相手があることです。ですから変わってきますので、その辺住民への投げ方を工夫して頂きたい。それから議会が、今度の合併問題にあんまりプレッシャーをかけるような、そんな運動はして

もらいたくない。特に考えなくてはいけないのは、これからの世界、技術や情報化の近代化で時代が変わっておりまから、それらに応じて日本の国民の生活レベルをどんな形で上げていくべきかと、そういうような次元からぜひ市長さんの方から住民への呼びかけをしてもらいたい。ミクロ的に今の現状のメリット・デメリットをベースにするいろいろの合併を論じて行くのではなくて、マクロ的にこれから30年50年先を見越して、ご指導していただくことをお願いいたします。

**市長** ありがとうございます。国は合併を構造改革で進める基本理念として、地方分権時代に分権を担える将来のまちづくりのための合併です、と言っています。いやそれは立て前であって本音は別の所にあるという議論もあります。ですから、市町村長は一定将来を見通したうえでこのようなことが考えられるのではないかと、という説明を大胆にしていかなければいけないと思えます。国や県のた